

まるせい

果樹園

学習テーマ
果樹園の働きの様子を体験して実感しよう

一日目

相方の
合わせをし、一緒にまるせい果樹園まで歩いて行きました。

事前訪問の際に教えられた、場所に水筒以外の荷物を置いて職場に向かいました。着いたら、エプロンを貸してくれたので着けて、言われた事に気を付けながらお仕事を開始しました。最初は緊張していましたが午後からは少しだけ慣れてお客さんにも大きな声で挨拶出来るようになりました。ほぼ立ちっぱなしだったので疲れしました。

6/25	ジュースのラベル貼り 箱のシール貼り、箱作り 宅配便の宅配書の切り取り
6/26	ジュースを並べる、箱のシール貼り 箱作り、パックのラベル貼り 塩瓶のラベル貼り
6/27	2号棟、3号棟の シルバー剥がし

二日目

二日目も同じ場所で待ち合わせをして、一緒に行きました。二日目は二人で別々の仕事をしました。

序盤の方は昨日やり残した宅配書の切り取りを二人で行いました。職場の人が言うにはなるべく破らないように切り取る事と、QRコードは絶対に破らないと教わりました。後の、作業は別々に行い終わったら次に何をすれば良いのかを聞いて黙々と作業続けました。

お昼ご飯を食べた後は箱作りと箱のラベル貼りを終わらして、その後はくんと同じ塩瓶のラベル貼りを行いました。その塩瓶の中身は果物のかすと塩を合わせた物でした。みかん味の塩とぶどう味の塩があったので、間違わないようにしました。三時になり帰宅しようとして挨拶に行った時に社長さんから自販機のジュースを奢ってもらいました。それと同時に、「明日はシルバー剥がしをやってくれ」と言われたので「頑張ります」と元気良く言いました。



三日目

三日目はくんが疲労で休んでしまっていて、一人で職場に向かいました。向かっていた途中に色がゴライアスというカブトムシに似た蜘蛛のような虫が肩に落ちて来たので物凄くびびりました。

職場に着いたら社長さんが真つ先に来てシルバー剥がしと一緒に福田さんを紹介しました。福田さんの話によれば、二号棟と三号棟のシルバーを剥がして時間が余ったら、離れにある一号棟のシルバーも剥がすと言っていました。

まずはシルバーを固定している釘をトンカチで引っこ抜いてから上の写真の様に両手でシルバーの端をマントの様に持ち、降りたんでいくという事を繰り返して最後まで行ったら側面がロールケーキの様になりました。暑いたら入口まで運ぶを繰り返しました。暑いと虫がかなりの数いたので、結構疲れしました。

職場体験学んだこと・感想

僕が職場体験を通して学んだ事は働く事の大変さ、働く事の意味などが分かりました。この職場体験の経験を胸にこれからの勉強をなるべく頑張って、将来の夢に向かって行きたいと思えます。

五十嵐モーターズ

学習テーマ
整備士の仕事について知ろう

車検について

五十嵐モーターズは車検をする前に必ず洗車をしてから車検をします。理由は確認する際に頭や手や作業服が汚れないように少しでも洗ってから車検をするからです。エンジンやコンピューターなどに水がかからないように工夫をして洗車するそうです。

車の部品は大体のものが消耗品なので、車検の時は消耗品をよく見るそうです。例えばオイルやブレーキなどのものです。ブレーキの減り具合が微妙な場合は念のため交換するそうです。ブレーキはメーカーによって少し違うのでそのメーカー公認のものを使います。オイルの交換頻度は一般的に走行距離が一五五千キロになったら交換が目安です。オイル交換時にはオイルがこぼれないように注意しながらオイルを交換しています。オイルはエンジンのピストンが金属摩擦を軽減させ滑らかに動くようにするためにあります。オイルにも種類があり粘り気があるものやサラサラなものがあります。一番いい選び方は新車時に元々入っていたオイルの種類を選ぶのが的確です。なぜならあつたオイルを選ばないとエンジンが動かなくなるかもしれないからです。オイルは下から抜き、上から新しいものを入れます。オイルフィルターの役目はオイルから鉄屑などを取る役目があります。そのオイルフィルターはオイル交換を二回行ったらオイルフィルターを交換するそうです。

車検の仕上げ

車検の最後はちゃんとネジがしまっているか、ライトがきちんとつくかの確認です。まずネジを締めすぎるとダメになってしまい、ゆる過ぎててもダメなので、そういう時はトルクレンチを使います。ある程度の力が入ると回らないようになってるので、安全らしいです。ライトの確認は二人で声を掛け合い確認します。ハザードランプやブレーキランプを確認します。そして車検が終わった後はまた軽く洗車をし車内の清掃をします。洗車は水を流しながら傷がつかないように柔らかいブラシで洗います。その後、水垢がつかないようにタオルで拭き取ります。車内の清掃はカーペットを掃除機を使って掃除し窓はタオルを使って上から綺麗に水垢がつかないようにします。その後は車検が通っている車には必ずついていているフロントガラスの真ん中の一番上と助手席側についているシールを剥がし、新しいシールを貼ります。シールはきれいに剥がさないとダメなのでシール剥がし用のスプレーと器具を使います。

6/24洗車 車検
6/25車検
6/26オークション 質問コーナー

職場体験の活動・反省

僕は将来整備士になりたいたくて職場体験活動で五十嵐モーターズを選びました。皆さんが優しく、説明がわかりやすくてよかったです。

まだ車の知らないところがたくさんありましたが、今回の機会がたくさん知りました。

一人で寂しかったですが、とても五十嵐モーターズに行けて嬉しかったです。今回学んだことを将来に活かしたいと思います。



信陵建設株式会社様



建設業の大変さや知識を知ろう。

1日目職場体験見学まとめ

1日目、会社説明土木について土木工事のことを聞き、建設機械の種類が27台と多く、道路・水道管パイプの替えの作業・除雪・橋の撤去・ダムの開通など様々なことに活躍していて主にダム工事・公共災害復旧工事・ヘリポート整備工事の災害、整備に関わったことをしています。信陵建設さんは、建設業・一般貨物自動運送事業・食品製造業(6次化産業)の幅広い事業をしており、食品製造業では、飯坂温泉グラノーラを製造・販売して、ふくしまスイーツプレミアム認定されています。東日本大震災からの復帰では、自衛隊より前に土木工事業社は、動いていて、人の助け、復旧に向けての活動などいろいろな分野に活躍していました。

2日目職場体験見学まとめ

2日目、実際の工事現場の見学・体験をしました。視線誘導標の斜めになっているところを真つ直ぐにする作業を体験しました。重い工具を持ち、微調整しながらシャベルを使って、深さを測ったり大きな石を取り除いたりしました。一番大変だと思ったりは、普通の交通で車も通る所なので、事故になったりしたら大変だと思いました。そして、過去にやった工事現場も見学に行きました。例えば、川の真ん中にある島を崩して流れを良くした場所・昔にあった橋をなくして新しい橋を建てた場所に行きました。

6	会社説明 土木について
24	東日本大震災からの復帰
6	現場見学・体験 ・実際の工事現場を見学・体験
25	現場見学 ・様々な現場の見学 
6	試乗体験 ・工事車両や建設機械の試乗
26	オリエンテーション 

1日目職場体験見学まとめ

3日目、シャベルカーの運転している所を見に行きました。車とは違い運転が難しく、丁寧にしないと事故になってしまうそうです。それから、大型トラック・除雪車など大型機械を見ました。

全てのまとめ

この職場体験はいい経験になったので、将来に使いたいと思いました。仕事の大変さ、大切さを知る良い機会で、仕事場の人の思いなどが良くわかりました。



仕事や客の接客の大変さを知る

一日目は、わからない事がたくさんあったけど、マネージャーさんと店長さんと店員さんに教えて貰いながら仕事をやりました。まずは、朝にトイレ掃除したり、揚げ物を揚げたり、品出し、ゴミ捨て、陳列などをやりました。少しだけレジをしました。午後には、飲み物を補充するウォークリングをして、一日目が終わりました。

二日目は、朝にホールの掃除をしました。その後に、レジをしながら、揚げ物を揚げたり、品出し、陳列、ゴミ捨て、割引のシール貼りをやりました。午後からは、ウォークリングをして、終わった後に、店長さんが来て、店長さんの指示を聞いて、もう一回お菓子とカップラーメンの品出しをしました。終わった後に少しだけレジをやって終わりました。

三日目は、朝にトイレ掃除をして、レジをメインにやりました。その後に、揚げ物を揚げたり、陳列、品出し、割引シール貼りをしました。その後に、お客さんから、質問を受けたので、しっかりと答えました。午後からは、ウォークリングをしました。終わった後に、レジを時間になるまでやりました。

四日目は、朝に、ホールの掃除をして、揚げ物を揚げたり、レジを長めにやって、陳列、品出し、ゴミ捨て、割引のシール貼りをしました。

午後からは、ウォークリングをした後に、店長さんからもう一回お菓子とカップラーメンの品出しをやってつて言われたので、しっかりとやりました。後少しレジやって終わりました。

最終日は、朝にトイレ掃除をして、レジをいつもよりも長くやって、その後に品出し、ゴミ捨て、揚げ物を揚げたりしました。レジをしてる最中にマネージャーの松尾さんから揚げ物を奢って貰いました。

午後からは、ウォークリングをした後にレジを長めにやりました。最後に、商品棚の掃除を帰る時間までやりました。全部は、出来ませんでした。

6/24	陳列・レジ・掃除・品出し・ゴミ捨て・ウォークリング・揚げ物
6/25	ウォークリング・掃除・陳列・品出し・レジ・揚げ物
6/26	掃除・レジ・陳列・品出し・ゴミ捨て・ウォークリング・揚げ物
6/27	掃除・レジ・品出し・ウォークリング・ゴミ捨て・揚げ物
6/28	掃除・レジ・品出し・ウォークリング・ゴミ捨て・商品棚の掃除・揚げ物



職場体験で学んだことと感想

職場体験で学んだことは、接客には、適切な行動をしてお客さんを不満や不安にさせないように優しく教えてあげるという気持ちを持って接客するという事を一番学びました。

感想は、仕事の量が多すぎて足が痛くなったけど、レジ、ゴミ捨て、品出し、掃除などを一週間やってきたから色々な事を知れて良かったです。凄く良い経験が出来ました。

いちい

体験活動を通して働く
大変さを知ろう。

一日目

最初は、飲み物の品出しをやり
ました。次に食品の品出しをやり
ました。次に鮮度チェックをや
りました。一日目が終わって感じ
たことは、意外と大変な仕事なの
だと思いました。慣れてなかつた
こともあるかもしれないけどそう
思いました。

二日目

二日目の最初は、昨日と同じで
飲み物の品出しをして鮮度チェッ
クまでは昨日と同じことをやりま
した。今日は、最後に値下げの作
業をやりました。値下げの作業を
やった感想は、値下げのシールを
作るだけで結構手間がかかるんだ

と思いましたが。

三日目

最初は、いつもと同じで次
は、最後にラミネートされたふ
だを切り取る作業をしました。
こうゆう細かい作業が苦手なの
でこの作業は、大変でした。



6月26日 6月25日 6月24日

<ul style="list-style-type: none"> ・ 品出し ・ 鮮度チェック ・ 前出し ・ ラミネート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品出し ・ 鮮度チェック ・ 前出し ・ 値下げ作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品出し ・ 鮮度チェック ・ 前出し
---	---	--

感想

この職場体験をやって思っ
たことは、仕事をするのは、
大変なんだなと思いました。
いちいで働いたから地域の人
との交流ができたのですごく
充実したと思います。

ダイユーエイト

活動の内容

私が職場体験をした場所は、ダイユーエイトです。

「ダイユーエイトでした仕事は、「値付け」「蓄取り」「水やり」「ポップ貼り」「ポップ剥がし」「品出し」「前出し」です。
まず「ポップ貼り・ポップ剥がし」は、古いチラシを取って新しいチラシに変えたり、実際にレジの体験をしました。「値付け」は、お花が植えてある小さいプランターに値札のシールを貼っていく作業をしました。蓄取りは、お花のプランターが置いてあるのが外で、雨で蓄が濡れてしまい萎んでいる蓄を取らないと腐ってしまうので蓄取りを行いました。「水やり」

月	前だし、蓄取り、値付け
火	品出し、前だし、蓄取り、値付け、水やり、ポップ剥がし、ポップ貼り
水	品出し、前だし、清掃、レジ
木	前だし、品出し、蓄取り
金	前だし、品出し、ポップ剥がし

は、野菜の芽に水を上げる作業をしました。「前だし」では、後ろにある商品を前に出す作業をしました。商品を前に出すことで商品が売れ残りだと思わせない効果があったり、お客さんに衝動買いをさせる効果があるそうです。蓄取りは、お花のプランターが置いてあるのが外で、雨で蓄が濡れてしまい萎んでいる蓄があつてそれを取らずに放置しておくとう蓄が腐ってしまうので蓄取りを行いました。水やりは、野菜の芽にお水を上げる作業をしました。品出しは、段ボールに入っている商品を同じ商品が置いてある場所に置く作業をしました。前出しでは、後ろにある商品を前に詰める作業をしました。レジ打ちでは、レジ横に居る店員さんの横でお客さんの買う商品を袋に詰めたり、シールを貼ったりしました。



大変だった仕事・楽しかった仕事

個人的に活動の内容で大変だったのは、「品出し」でした。理由は、ダイユーエイトの全部置いてある商品の場所を把握していない中で段ボールの中に入れてある商品全て、同じ場所に置くために探すのが凄く大変だったし、三人で手分けして品出しをしても結構時間がかかったからです。
逆に楽しかった作業は、「値付け」です。理由は、プランターにシールを貼っていく作業が楽しかったからです。

職場体験活動で学んだこと・感想

職場体験をして学んだことは品出しや前出しという作業がある事を知ってなぜその作業をしているのかという理由も詳しく知れたり、飯坂のダイユーエイトに置いてある商品の種類が一万以上もあると教えてもらい飯坂のダイユーエイトは小さい方で鎌田にある大きいダイユーエイトは置いてある商品の種類が凄いと知って驚きました。今考えるとお客さんに探している商品を聞かれた時にすぐに教えることが出来ることに改めて凄いと感じました。他に、品出しという一人でやるには大変な仕事でも同じ職場体験だった友達と協力することが出来て良かったです。仕事は大変だったけど貴重な体験が出来たのでこれからのことに役立てて行きたいと思います。

ファッションセンター しまむら

学習課題
働いている人の裏側や仕事の重要さを知り、これからの生活・活動に生かせるような体験にしよう。

活動の様子

ファッションセンターしまむらでは、まず防犯対策の為に従業員全員で同じ時間の中へ入ります。その後準備が終わった人からレジの前に並び、朝礼をし、一日の予定を確認します。

その後、店内の掃除をしたり、商品の整列をしたりします。十一時半になったらお昼休憩で、奥の部屋に行って、十二時四十五分まではご飯を食べたり雑談をしたりしました。午後は主に掃除や店出し、依頼にしているの仕事をしました。

○初日・二日目

初日はまず教えてもらいながら店内の掃除をして、それから靴売り場を夏仕様にかえる作業をしました。お昼休憩中は従業員の友達と色々

お話しをしたりしながらゆったりと過ごしました。午後からは、店内の掃除と服の品出しをしました。しまむらでは、品出しのときにでたプラスチックでも、何か印刷されているものは違うゴミ袋に入れたりゴミの分別に力を入れていました。服の品出しは、とても量が多く時間がかかる作業でしたが、慣れると、結構楽しかったです。

○三日目

三日目からは、検収もやりました。検収は、ダンボールに入っている商品をバーコードに通してから、種類別に分ける作業です。この作業は、種類別に分ける時に区別をするのが難しいかったです。ほんの少しの違いを区別して分けなければいけなかったもので、時間がかかりました。ですが、唯一一緒に体験に行った友達と同じ作業を出来る時間だったので、楽しかったです。

○三日目以降

その後からは、同じ作業を続ける事が多かったです。なるべく早く終わらせて、多くの仕事を経験出来るように、頑張りました。

職場体験活動で学んだ事・感想



私は職業体験活動で、仕事をする事が、活動前に思っていたよりもずっと大変だということがわかり、裏側の仕事も重要だということを知りました。なので私も、学校で何かするときは、全ての作業を丁寧にこなし、協力して進めていけるようにしたいと思いました。それと私は、従業員の友達がお客様の相談に素早く対応している姿が、とても印象に残っています。なので、いつでも冷静で、どんな事にも対処出来るように見習っていききたいと思いました。

オノデラ百貨店

働くことの喜びや苦勞、
生きがいなどを知らう

体験したこと

開店準備	接客(料理の提供)
掃除(モップがけ・窓拭き・机拭き)	
ジュエラートづくり	
アイスティーづくり	
アイスコーヒーづくり	
クリームソーダづくり	
新メニュー案考案(ミーティング)	
オリジナルグッズの包装	
アイスカップ、ドリンクカップの下準備(オリジナルシール貼り)	
商品カードづくり	

メニュー考案

お店の方々と初めてミーティングをした際、見た目の美しさや食材費、商品を作るのに掛かる時間なども含めて新しいメニューを一人一つずつ考案してほしいと言われ、三日間の間に、お店にあるメニューを参考にしながら考えました。
最終日に再びミーティングが行われ、考案したメニューをそれぞれ発表することになりました。最終日にはなんとか間に合いましたが、短期間でメニューを考えたり、考えたメニューに合う値段や名前、を考えたりすることはとても難しかったです。



質問して分かったこと

質問: 接客するときに大切にしていることは、
なんですか

回答: 初めて来店されるお客様も多いので、笑顔で「来てくれてありがとう」の雰囲気を出すこと

質問: どのようなときにやりがいを感じますか

回答: 商品を提供したときにお客様に喜んで
もらえたとき

嬉しそうに写真撮影されている姿を見たとき

質問: 料理を作っているときに大切にしていることは
なんですか

回答: まずは見た目の美しさを大切にしている
注文して良かったと思ってもらえるよう、
盛り付けに気をつけている

体験を通して分かったこと・感想

実際に四日間体験して、自営業するにあたって大切なこと、大変なことを学びました。

オノデラ百貨店さんでは、机や椅子の配置やお手洗いなどの店内の整備や、あまり人目につかないところの整備、料理の提供スピードや盛り付けの美しさも重視されていて、お客様がもう一度来たいと思えるようなお店づくりをしていることが分かりました。

職場体験で学んだことを、将来のために活かしていきたいと思えます。

ホテル聚楽

2年1組
矢野 莉音

△活動内容▽

～三日目～	～二日目～	～一日目～
<ul style="list-style-type: none"> ・リネン取り ・食器洗い ・掃除機かけ ・コロコロかけ ・食器のシール剥がし 	<ul style="list-style-type: none"> ・リネン取り ・食器洗い ・掃除機かけ ・コロコロかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リネン取り ・掃除機かけ ・コロコロかけ <p>(リネン…シーツやタオル類)</p>
<p>掃除機 → 部屋・廊下 コロコロ → 部屋・廊下 階段</p>	<p>掃除機 → 部屋 コロコロ → 部屋・廊下 階段</p>	<p>掃除機 → 部屋・廊下 コロコロ → 部屋・廊下</p>

△活動の様子▽

三日間の活動で毎日行った仕事は、リネン取り、掃除機、コロコロです。その仕事を覚えられ、自分達だけでも出来るようになりました。リネン取りは、取るものを間違えずに取り、正しく仕分ける事が出来ました。掃除機では、お部屋のゴミをキレイにするために、隅々までかけられました。コロコロでは、掃除機で取れなかったゴミをしっかりと取れるように頑張りました。食器洗いと食器のシール剥がしでは、食器が割れないように気をつけました。お客さんが来る客室に関わる仕事や、食事に関わる仕事だったので間違えないように丁寧に仕事しました。



△質問・回答▽

働いていて一番大変な事だったことは、小さい子からお年寄りまで、色々違った接し方をしなければならぬ事だそうです。聚楽のスタッフになろうと思つた理由は、大きくて有名なホテルだからと言っていました。ホテルスタッフの人数は、百八十八人だそうです。出勤時間は九時で、帰宅時間は六時です。どのような気持ちで仕事をしているのかは、お客様の安全・安心を第一に行動することだそうです。どんな仕事の時にやりがいがあると感じるのかは、お客様に「また来るよ」と言われた時だそうです。

△職場体験を通して学んだこと▽

ホテル聚楽の仕事を体験して、色々な事が学べました。お客さんとすれ違った時のあいさつや客室の掃除など、日常にも関わる事も学べました。仕事をさせていただいた場所も、お客さんが泊まるお部屋や、バイキング会場などで使われる食器など、泊まりに来る方に関わるお仕事だったので、掃除もすみずみまできれいになるように頑張りました。この職場体験で学んだことを、日常生活でも活かしていきたいです。

あずま荘

仕事の仕方やお客様への接客の仕方を学ぼう！

1日目の活動

一日目は、電球の傘の掃除と窓拭きを行いました。傘の掃除は意外に握力と肩の筋肉を使うので大変でしたが、それよりも大変だったのが傘の取り外しです。傘の取り外しは技術が必要で少しでも傾いたり、最初と同じ位置に固定できなかつたらやり直しといったとてもきつい作業でしたが、やっていくにつれてだんだん慣れてきたので最後の方はスムーズに作業に取りこむことができました。次に旅館の窓拭きをしました。窓拭きは最初の電球の傘掃除よりも楽でしたが、窓拭きもかなり肩の筋肉を使うので大変でした。



二日目の活動

二日目は、食堂の埃とりをしました。食堂はかなり広く埃を取るのも、ものすごく時間がかかってしまったのもっと早く丁寧にやっていたらばなど今すごく反省しています。次に、メニュー表の訂正を行いました。メニュー表の訂正はかなり慎重な作業で、細かい作業が苦手な僕はかなり時間を使ってしまいました。従業員のかたたちが優しく教えてくださったので、細かい作業が苦手な僕でも綺麗に訂正することができました。

三日目の活動

三日目は、七夕の飾りに必要な竹を取りに行きました。竹はものすごく頑丈で切るのに時間がかかりましたがやっていくうちに慣れていったので、途中から楽しみながら竹を切っていました。竹を切り終わった後休憩でダムにもよりました。ダムから見る景色はとても綺麗で絶景でした。

まとめ

職場体験では、僕の知らないことや仕事の仕方など色々なことを学ぶことができました。僕たちはまだその仕事のちよつとしたことしかやってないけど、職場ではそれ以外のことを働いている人たちが力を合わせ、協力していることが分かりました。僕もこれから大人になり就職するので早く自分に合った仕事を見つかけたいです。



けやきの村

学習テーマ

仕事がどれだけやりがいのあることを学ぶようにしよう！

どのような場所なのか

働きたいけど年齢や体力に不安があるといった方が自身の体調や体力に合わせて通いながら、自分のペースでお仕事ができる場所です。

どのような仕事をしているのか

障害をもった方の支援をしています。この仕事に向いている人は、他人を思いやれる人、人間性のある人が向いているとお話していました。そして、この仕事をするのに資格はあった方がいいとお話していました。

4日目	3日目	2日目	1日目
ヘルメット紐つけ 部品の角切り おぼん配り 片付け ヘルメット 組み立て作業	ジャガイモ皮剥き ご飯 配達	ヘルメット確認作業 部品渡し おぼん配り 片付け 清掃	ヘルメット ピン留め作業 汗止め おぼん配り 片付け ヘルメット仕上げ



職場体験活動で学んだこと・感想

私が職場体験活動で学んだことは、けやきの村では障害をもった方の支援をしていることです。そして、自分の体調や体力に合わせてお仕事ができる場所だということでした。この職業で働こうと思ったのは、人の役に立ちたいと思ったからだそうです。4日間の間でたくさん学ぶことができ、よかったです。利用者さんの方とたくさんのお話ができて楽しかったです。楽しく真剣に学べたので、この経験を今後の生活に生かしていきたいです。

飯坂保育所

この機会に、職場体験を通して子どもと関わる上で大切なことを学ぼう。

職場体験活動

保育所での活動内容や活動の様子を紹介します。

6/24	<ul style="list-style-type: none"> 朝のお集まり・昼食の準備の手伝い 泥遊び・寝かしつけ・着替えの手伝い ダンス・制作の手伝い・おやつ準備の手伝い コップ洗い
6/25	<ul style="list-style-type: none"> 朝のお集まり・昼食の手伝い 朝のおやつ・着替えの手伝い・コップ洗い 外遊び・寝かしつけ・おやつ準備の手伝い 夏祭りの制作の手伝い
6/26	<ul style="list-style-type: none"> 朝のお集まり・寝かしつけ 避難訓練・夏祭りの制作の手伝い 着替えの手伝い・おやつ準備の手伝い 昼食の手伝い・子供達の椅子片付け
6/27	<ul style="list-style-type: none"> 朝のお集まり・寝かしつけ 御神輿作り・お便り4種類を折ってみ 歯科検診 昼食の準備の手伝い・制作の手伝い



私が今回活動したクラスは、一日目三・四歳クラス二日目一・二歳クラス、三日目一歳クラス四日目四・五歳クラスでした。開所は、七時からで順次登所です。どのクラスも毎日九時から「朝のお集まり」と言う小学校や中学校でやる朝の学活的なものをやります。内容は、その日のお当番さんを決めて今日の給食のメニューや一日の活動内容をみんなの前で言ったり、みんなで童謡を歌ったりします。次に、朝のおやつは0・一・二歳の子達が朝のお集まりが終わった後に食べるおやつのお話をします。朝のおやつは、歯を鍛えるためにスルメイカやチーズ・バナナ・ウエハースなどが出来ます。次に夏祭りが近かったので年長さんが担ぐ

御神輿をみんなで土台にいろんな色の画用紙を貼って小さいのを二つ作りました。まず避難訓練と歯科検診をしました。まず避難訓練は0・一・二・三歳と子育て支援センターの、一階に居る子供達はあらかじめ数分前に外にいてサイレンが鳴ったら所定の端の方に集まって、クラスごとに固まり二階にいる三・四・五歳の子達も合流したら担当の先生と所長先生からのお話がありお話が終わったら、順番に教室に戻って各々担任の先生からもう一度お話をして終わりです。それを月一回やっています。最後に、歯科検診は年に一回で三・四・五歳の子達は歯を診てもらったら自分の歯ブラシを使って歯科衛生士さんを真似してやったりしました。それ以外の年少さん達は、歯を診てもらったら終わりです。

職場体験活動で学んだこと・感想

まずひとつ目は、それぞれの年齢・発達などに応じた対応や接し方を学びました。二つ目は、寝かしつけをする時に弟はトントンだけじゃあんまり寝てくれないけど他の子供達はトントンすると意外とすぐ寝てくれたので良かったです。三つ目は、積極的に子ども達と話したりコミニケーションをとる事が出来たので出来て良かったです。最後は、四日間どのクラスに入っても子ども達自ら話し掛けて来てくれたり遊ぼうと言ってきてくれたり抱っこしに来てくれた事が沢山あったので、学習面でもそうだけどういう事があると嬉しい職場体験に飯坂保育所を選んで良かったなと思いました。

飯坂幼稚園

僕は職場体験で飯坂幼稚園に行きました。月曜日の職場体験は最初に子どもたちの前で自己紹介をしました。自己紹介をした後子供達が「先生、鬼ごっこしよ！」と言ってくれた時はとても嬉しかったです。その後ボール遊びや水遊びをして子どもたちとても仲良くなりました。左に一週間の活動内容を書きました。

6/24	自己紹介
6/25	子供達と遊ぶ
6/26	教室をいじ
6/27	水もつ遊ぶ
6/28	

学んだこと

子供達との関わりの中でいろんなことを学びました。子供たちと喋る時はこうしたほうがいいんだとか、遊ぶ時はこんなことをしたら子供達は喜ぶんだとか他にも色々なことを学びました。子供達が帰った後にもとても大事な仕事がありました。教室の掃除や紙を切つて壁に貼つたり幼稚園が賑やかで綺麗になるようにいろいろ頑張りました。そして子供たちと話するときはしゃがんでちゃんと目を見るや子供たちが言った言葉を繰り返して話すなどいろいろなことに気をつけて子供達と関わりました。最初の日はとても緊張しましたが、最後の日は子供達との関わり方をいろいろ学びとても子供たちと話しやすくなりました。それと子供達が僕のことを受け入れてくれたことが一番嬉しかったです。それとこの前お祭りで会った時先生だと声をかけてくれた時はものすごく嬉しかったです。子供たちと関わるののもとても楽しいなと今回の職場体験で実感しました。これから子供と関わるのがあったら今回の職場体験で学んだことを活かしていきたいと思います。

最終日

最終日はお別れ会をしました。内容は僕が絵本を読んだり、鬼ごっこをしたりして子供たちと楽しいことをたくさんしました。その後僕が外で子供たちと遊んでいる時に中にいた子が折り紙で亀を作つて僕にくれました。とても上手に折れていてすごいなと思いました。それと一人の児童は紙にメッセージを書いて僕にくれました。そこには「遊んでくれてありがとう」と書いてありました。一週間という短い間でしたが僕は泣きそうになりました。今回の職場体験で子供との関わりを深く学ぶことができました。



職場体験のまとめ

私が今回の職場体験でお邪魔させて頂いた事業所は「飯坂恵泉幼稚園」です。五日間の職場体験の中で、学んだ事や体験した事の中で印象に残っていることは二つあります。

一つ目は、幼稚園生との「話し方」についてです。幼稚園生の中でもきりん組やうさぎ組にいる子供の話していることは聞き取る事が出来ても、りす組りトルりす組の子達の話している事を聞き取ることが難しく初めはどうしたらいいかわかりませんでした。でも、自分がりす組やりトルりす組の子達を担当する日に先生方はどのようにしているかを見たり、自分で考えたりしました。そして辿り着いたのは「幼稚園生と同じ目線になって考えてあげる」「ゆつくり聞いて自分から聞き返す」です。小さい子と同じ目線になって考えてみると、あ、こんなふうになっているのかな？などいろいろ考えが浮かびました。そして分からなかったことを「〇〇って言うこと？」など聞き返してあげると、「うん」や「ちがう」と言ってくれるので、どう言いたいのかわかえを絞ることも出来るようになります。このような体験から「話し方」についてより深く考える事ができました。

二つ目は、幼稚園生同士の「喧嘩」についてです。複数人で遊んでいる時や朝の自由な遊び時間に喧嘩が起きたりします。大きなブロックで遊んでいる時や鬼ごっこしている時、おままごとをしているときに「混ぜてもらえない」「が原因で喧嘩する子供が何人もいました。喧嘩している時に自分じゃ上手く止められなく、大抵先生が来てくれていました。でも自分でなんとかしないとイヤな思い、先生方の喧嘩の止め方や、お互いを仲直りさせる方法を探りました。そこで分かったのは、「お互いの意見をしっかりと聞きお互いを落ち着かせてから何があったかゆつくり聞いて優しく謝るように伝える」です。



小さい子は怒ってから落ち着くまでに時間が掛かるので、ゆつくり話を聞きながら落ち着かせてあげる事、「ごめんね」「いいよ」とお互いに言いあつてもらおう事をしっかりと伝えるようにしました。そうすればお互い落ち着いた状態で仲直りさせる事ができるようになりました。幼稚園に職場体験に行つて大変だったことのトップに入る事でした。でも、自分でいろいろ考えたりすることが出来たのでこれも良い経験だなと思いました。私はこの体験から「幼稚園生同士の喧嘩の止め方」についての解決策を考えることが出来ました。

全体を通してのまとめ

私は、この職場体験を通して自分の両親の苦勞をようやく知る事ができました。今までは、自分の学校の方が仕事より大変だと思っていたけど、仕事をすることの方が何倍も大変だということが分かりました。初めての事だらけで大変だったけど、慣れてくるとスムーズに出来たりするのが嬉しかったです。幼稚園の先生の仕事の楽しさも大変さもどちらも沢山ありました。大変な仕事だからこそやりがいも感じたし、達成感も感じました。この職場体験で学んだことをしっかりと今後生きて生活していきたいです。

いざか池田医院

いざか池田医院で医療について学ぼう

事務の仕事について

6月24日から6月28日の一週間職場体験に行ってきました。池田病院に行つて事務の仕事と看護師の仕事について学びました。まず事務の仕事では患者さんに出す薬を袋に詰めました。間違えないように何度も確認して詰めました。患者さんによって薬の量も違うし種類も違うから大変でした。でも患者さんを長い時間待たせてはいけないので早く正確にやることを意識して詰めてました。

6/24	受付で薬出し
6/25	薬包紙に薬を包む
6/26	血圧測る
6/27	X
6/28	受付で薬出し

看護師の仕事について

看護師の仕事では患者さんの血圧を測つたり採血をしました。採血の時血管が細い人がいて難しそうだったけど正確で一発で刺していいように正確になりたいと思いましたが、血圧を測る時は最初に患者さんがリラックスできるように深呼吸してから測ってました。知らないことがたくさんありました。採血しただけで血圧を測るだけでなく、パソコンに患者さんと話して大事なところを打ち込んだりする作業をしているのを見て忙しそうでした。



職場体験活動で学んだこと感想

看護師さんは行動が早く自分について行くだけなのに結構疲れました。患者さんへの接客がいつも丁寧で笑顔でいて安心できると思いました。自分だったら疲れていたら顔に出てしまいうです。そのほかにも薬が大量にある棚から患者さんに出す薬を見つける作業がありました。やってみたら薬の名前は難しいし見つからなくて苦労しました。薬を詰めるのも大変だけど探すのも大変でした。

当たり前だけど大変でした。思ってた何倍も最初は疲れました。最後らへんは少し慣れて楽しかったです。看護師さんになるには患者さんを安心させるためにコミュニケーション能力をつけたいと思います。そのほかにも接し方に気をつけたり、リラックスできるような環境にすることが大事なのかなと思いました。

福島民報新聞社

職場での雰囲気や魅力を感じて、働くことの意義を学ぼう。

6月25日の活動は、主に新聞についての講座とインタビューだった。

講座は、担当の古川局長がしてくださった。私たちは、新聞をつくる工程や会社の組織などを教わった。中でも、印象に残っているのは、「人はなぜ新聞を読むのか」というお話だ。指名された女の子は、「世の中で起きた出来事を知るため」と答えた。私も同じように思った。でも古川局長は「人間だから」と話した。動物は情報を感じとれるが、人間は感じとれない、だから情報を得るために新聞を読むという考え方だった。私たちとは違う視点で魅力的な考えだと思った。午後からは、報道部長の渡部さんと営業部の佐藤さんにインタビューした。質問をするときには、相手が答えやすいように具体的な質問にすると教えてくださった。今後の機会に生かそうと思う。

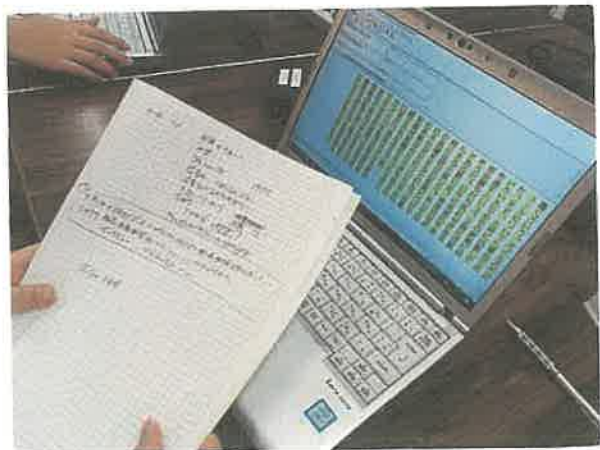
6月26日の活動は、原稿作成だった。

初日の講座で、新聞は逆三角形と教わった。始めに最も重要なこと、次に二番目に重要なこと、その次に三番目に重要なこと・・・というように書かれているの難しい。インタビューしたことを全部書くのは難しいので、内容の取捨選択をしないといけない。自分が書きたい話題と読者を飽きさせない話題を両立させるのが難しかった。

6月27日の活動は、新聞作成だった。最初に見出しを考えた。大きな見出しは、全体的に何が書いてあるのかを5〜9字にまとめる。ドリームアップやインタビューなど、カタカナが続く見出しは見づらいので別な言葉に言い換えると教わった。例えば、ドリームアップ↓未来見据える
インタビュー↓取材
などにするとよいらしい。原稿を新聞を作成するものに反映させて、見出しや資料の大きさを考える。原稿の文字数とバランスを取るのが難しかった。

まとめ

新聞社には、淡々と個人で作業しているイメージがあった。けど、営業部の佐藤さんにインタビューしているときに、明るさやコミニケーションのとり方も大切なんだと思った。また、古川局長が、インタビューの内容を考えると「相手が答えやすいように質問を投げかけるといいよ」と教えてくださった。相手への配慮も大切だと思った。1、2日目でお世話になった穴戸さんに、原稿での言葉遣いを教えていただいた。文末は「言っただと分かった」の方が丁寧らしい。インタビューをした相手に対しての敬意も大切だ。



FMポコ

職場体験を通して



FMとAMの違い

AMは基本全国各地または県域で放送されています。一方、FMは地域でしか放送することができません。しかし、お互いに良いところがあります。AMは音質は悪いですが広い範囲で聞けるため、主にタクシードライバーなどに人気で、FMは範囲が狭いですが音質が良いため、主に若者への人気が強いです。また、FMは、局地的な放送ができるため、災害時に重要されています。

6月25日	送信塔の草むしり。
6月26日	生放送
6月27日	記者会見取材



何かを伝える仕事

ラジオ局と聞くとなんとなく、話している内容を生放送したり、編集して番組として放送する仕事というイメージになります。ですが、それだけでは無い、大事な仕事がたくさんあります。送信塔の整備、運行表の作成などの仕事があります。

ラジオは送信塔から電波を発信して放送します。その上、ラジオで1秒間ほどの無音が続くと、放送事故になってしまいます。そのため、山の中にある送信塔では、草むしり、枝を切る、動作確認などの手入れは欠かせません。次に運航表についてです。ラジオ局には24時間いつでも人がいるわけではありませんが、そんな中ラジオ番組を回すためのコンピュータがあります。コンピュータは人のプログラムで動くため毎日たくさんの日の番組、CMをコンピュータにプログラムします。

24時間その場いなくても良い反面、予定が狂うとめっちゃくちゃで、番組の予定などが大きく変わると運航表を作るのは大変だそうです。



特殊な職場

勿論、喋り、番組を編集し、放送する事は、大事な仕事です。ただ、放送するだけでは、利益は出ません、ほとんどの企業はものを作り、売った分だけ利益が出ますが、ラジオのような放送局は違います。ラジオ局は普段番組内で、広告を流す広告収入で利益を得ています。たくさんの方に広告をして貰うためには、たくさんの人々に興味を持ってもらえるような番組にしなければなりません。そのためには、はっきりとした口調、誰かが嫌がるノイズを極力減らす、そして途中で聞こえなくなったりしてしまうなどの、放送事故対策などを徹底しなければなりません。

学習を通して

ラジオは、たくさんの方の配慮、たくさんの方の努力、たくさんの方の協力によって成り立っていることに気がきました。これからも人と人の繋がりを大事にしていききたいと思いました。



福島市立図書館

社会の知識を学ぼう

カウンター業務と書架整理 やポップ作り

図書館の仕事は主に本の貸し出しと書架整理です。本の貸し出しでは、お客さんとのコミュニケーションが大切だと思います。僕はあまりお客さんとのコミュニケーションがとれなかったので頑張りたいです。書架整理では本を戻したり本の見出しなどをしました。本を戻すことでは決まっているところに戻すので大変でした。でも、図書館で働いている人はみんなすぐ本を戻してすごいなと思いました。ポップ作りではお客さんの目にとまるためにポップでの色使いや字を大きくしたりなどの工夫をしました。

しのぶ号やレファレンス

僕たちはしのぶ号に乗って立子山小学校に行きました。まず、しのぶ号とは移動図書館です。活動内容は、小学生の人に本の貸し出しや返却本のチェックです。小学生の人が沢山本を借りていて嬉しかったです。返却本の汚れがあるものは綺麗に拭いたりしました。レファレンスもしました。レファレンスとはお客さんから頼まれた調べ物をする事です。僕たちはその体験をするために実際にお題を出され答えを本で調べて答え書くことです。僕は泣いた馬鹿を切るといふ故事のお題を出されました。僕は最初まず何をしたいかわからなかったけど図書の人のおかげで答えを導き出せました。



主な三日間のながれ

6月27日	6月26日	6月24日
書架整理	書架整理	2Fカウンターの業務・書架整理
ポップ作り	しのぶ号	ポップ作り
レファレンス	ポップ作り	図書整備
新刊本の納品		

職場体験で学んだこと・感想

図書館でコミュニケーションの大切さを学びました。これからの生活に生かせるように頑張りたいです。

飯坂学習センター

体験学習テーマ
 体験を通して体験する職業の中で将来につながるものを見つけ、与えられた時間を有意義な時間にしよう。

職場体験活動について

一日目、支所業務体験はまず最初に事務所内の案内や支所全般の概要説明を聞きました。次に、土に穴を掘り肥料を入れマリーゴールドの花を植えました。そのあとに、水をかけて、スコップなどの片付けをしました。次も外で作業しました。道路の穴の空いてる部分に特殊な素材を入れて入れた場所にスコップで叩いて固くして最後に粉状の石灰をかける作業でした。つまり、道路を修復する作業でした。その後、支所の経済建設係の説明を聞きました。

一日目はマリーゴールドの花を植えたり道路の修復したりして、こんなことも、支所の仕事なんだと思いました。

6/25	支所業務体験
6/26	平野ふれあい館 歴史講座
6/27	図書室業務

二日目、平野ふれあい館歴史講座、学習センター館内見学と学習センター業務の説明。平野ふれあい館歴史講座は「伊達家と桑折町の西山城」について桑折西山城の歴史や、桑折西山城跡の保存と活用についてなど聞きました。その後は椅子やテーブルを片付けました。次に学習センター館内見学と学習センター業務説明は学習センターの中を案内していただいたり、実際にやっているイベントを見させてもらったり、学習センターの業務はどのようなことをしているのかを聞きました。二日目は、伊達家と桑折西山城の歴史について聞いたり、学習センター見学などを行いました。歴史については、とても勉強になりました。そして、学習センター見学は意外にも様々な部屋があり驚きました。



三日目、図書業務をしました。まず、図書室の案内をしていただいたり、図書室の本の並べ方などの説明を聞いたりしました。その後カウンター業務の説明を聞きカウンター業務の体験をして、折り紙で貝殻を作るというのも教えていただきました。次に、図書館事業体験をして、その体験の準備や片付けをしました。次に書架整理をしました。書架整理は、返却してもらった本を元の場所に戻すという体験活動でした。本を元の場所に戻すのは、難しいと思っていましたが意外に本に返す場所の表記があり少し簡単でした。そして次に、レファレンスという情報を求めている方に調べていることについて載っている資料を提示するなど、文献探しのお手伝いを行うことを体験しました。渡された紙に書いてあることの意味などを探すと、いうものでした。図書室は本がたくさんあって探すのが大変でした。ですが、楽しかったです。最後に本に傷が劣化しないために、カバーをかける体験をしました。持って来ていた自分の本を使ってそれに、カバーをかけました。

職場体験活動の感想

職場体験活動を通して僕は、仕事とはどういうことをしてどういう所なのかということが分かりました。体験では、マリーゴールドの植木を植えるなど貴重な体験をさせていただきありがとうございました。将来仕事に就く時に自分に合った仕事に就きたいです。

飯坂消防署

人を助ける仕事とはどんな仕事なのか学ぼう

一日目
最初は交代要領見学で一部と二部が交代するところを見学しました。消防は一部と二部があり、毎日交代をして働いています。次に施設案内と車両説明ということで施設の中はどんなふうになっているのか、この車はどんな時になんのために使うのかを教えてくださいました。あんまり詳しく知らなかったのが知れてよかったです。次に規律訓練とロープ結索訓練をしました。ロープ結索訓練では、もやい結び、巻き結び、本結びを教えてもらいました。難しかったけど練習したらすぐできるようになりました。規律訓練では、気をつけや敬礼の仕方などを教わりました。簡単なかなあと思っていましたが、やってみると案外難しく少し驚きました。最後に、消防概要説明ということで消防はおもにどんな活動をしているかなどをビデオを見て学びました。なにか出来事があつたときに、どこから連絡がきてどのような形で出動するのかなどを学べてよかったです。

6/24	規律訓練
6/25	普通救命講習
6/26	救助大会

二日目
二日目は、午前中は普通救命講習をやりました。普通救命講習では、まず一連の流れをテレビで見てもの後に人形を倒れた人にかけて練習しました。どんな対応をするのか、心配蘇生のやり方などをていねいにおしえてもらいました。最初は難しかったですが、やってみるといこううちにできるようになりました。これで人が倒れた時にできることはできるのかなと思いました。放水体験では最初にロープを伸ばしたり巻いたりするのをやりました。結構難しかったです。その後にはコーンに目掛けて水をかけました。すごく重くて、すこしでも気を緩めたら暴れるのでしっかりと持っていました。疲れました。こんな重いのを何時間も持っている消防の人はすごく体力があるのかなあと思いました。

三日目
三日目は午前中は救助大会を見学して、午後は質疑応答という流れでやりました。

救助大会はいろんな地区の人たちが様々な種目をやって大きい点数を狙うという大会です。隊員の人たちが緊張感をもってやっている姿を見てカッコいいと思いました。応援している人もめっちゃくちゃでかい声で応援してたのですごく気合が入っているのだなと思いました。すごくいい経験になりました。

感想
どうして消防の方たちは、こんなに頑張っているのかというただ人を助けたい、守りたいという気持ちがあるからだと思います。この職場体験を体験して思ったことは、次は僕たちがこの世の中の仕事を受け継いでいくことです。それをちゃんと受け継ぐためにこの職場体験があるのだなと思いました。これからこの世の中を作っていくのは自分たちなのでしっかりやっていきたいと思えます。



福島県立美術館

美術館での仕事を知らう
働くとはどのようなものか学ぼう

美術館の仕事内容

・学芸員の仕事

- ①調べる：いつ、どこに、どんな作家がいて、どんな作品を作っていたか調べ、研究する。
 - ②集める：収集方針にあわせて優れた作品を集める。**美術館の顔**
 - ③保存・管理する：未来まで良い状態で遺せるように、良い環境で保存する。
 - ④展示する：時代やテーマにあわせて作品をそろえ、より見やすく、よく見えるように展示する。
 - ⑤良さを伝える：実技教室を開いたり、同時代の音楽のコンサートや映画を上映したりして、多面的に作品の魅力を紹介する。
- 学芸員の方以外にも、看視や警備など、たくさんの方が働いています。

子供用解説シート 作成・発表

僕たちは職場体験活動での仕事として、子供用解説シートという、お客様向けの作品の解説シートを作りました。初めは、大変そうだな、と思っていました。必要資料を学芸員の方々が探してくださったので、あまり滞りなく作成できました。

体験活動の最終日、発表は他校の生徒や先生方、一般のお客様がいらつしやる中で行われました。僕は一番最初の発表だったのでとても緊張しましたが、なんとか発表できたので良かったです。先生や母にも「良かったよ」と言ってもらえたので嬉しかったです。

主な日程

6/25	館内見学の説明
26	清掃体験 作品鑑賞
27	子供用解説シート作成
28	子供用解説シート発表

職場体験の感想

大鳥中学校から美術館に行ったのは僕だけだったので、少し不安でしたが、他校の生徒さんと仲良くなれたのでよかったです。また、電車の時間が一緒だった友達がいたのですごく安心しました。

美術館のこともたくさん知れたし、電車にも慣れることができました。今回の職場体験で学んだことを将来の生活に少しでも役立てられるようにしたいです。

